

昨年度まで、年間2回発行しておりました。園校だより「みなみ」を毎月の発行とさせていただきます、小学校だより「みなみ風」を取りやめたいと思います。幼児教育と小学校教育はとても密接にかかわっており、その系統性は保護者の皆様にもお知らせすることは大切なのではないかと思ひ、令和6年度5月号より実践してみたいと思います。PTAと愛育会の皆様、そして地域の皆様に有意義な情報提供ができるよう心掛けたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【あいさつ運動】

小学校では毎週水曜日の朝、地域学校運営理事の方や地域の方に参加していただいて「あいさつ運動」が行なわれています。朝、子どもたちの集団登校の列がやってきて、「おはようございます！」と目と目を合わせ児童一人ひとりとあいさつを交わします。すべての子どもが元気に笑顔で！とはいきませんが、地域の皆さん方からエネルギーをいただいていることにちがひありません。このことはあいさつ運動に限ったことではありません。登下校で見守ってくださる方、声をかけてくださる方、幼稚園・小学校の子どもたちにいろいろな形で関わっていただいている皆様全員からあたたかみを感じ、子どもたちは成長しているのです。私の力は微々たるものではありますが、この地域の子どものために皆様方と力を合わせ、教育活動を推進していきたいと思ひます。今後も、お力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

【交通安全教室】4月15日朝山駐在所の長岡さん、交対協の皆さん、地区交通指導員さんのご指導のもと「すべての子どもたちが安全に登下校できること」をねらいに幼稚園小学校が合同で安全教室を行いました。新入生を加えた新たな登校班で、安全に登下校することができるように、歩行の仕方や手のあげ方、横断中の注意事項などを確認しました。まずは、校庭を道路に見立てて歩行練習し、そのあと、実際に道路に出て登校班別に練習しました。小学生がとても上手にする姿を見せてくれるので幼稚園児にとってはとても良いお手本になります。実際の道路では、車の行き来を目で確認して、車が止まるまで待つというところを再確認しました。子どもたちは毎日班の中で間があかないように声をかけ合ったり、歩くペースを調整したりしながら登下校しています。ただ、子どもたちだけで並んで歩くのですから時にはうまくいかないこともあると思ひます。しっかり学校でも話を聞きながら進めていきますので、今年度もすべての子どもたちが安全に登下校できるよう、保護者、地域の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

【人権の花贈呈式（2年生）】

23日出雲人権擁護委員の方と出雲市人権同和教育課の方が来校され、「人権の花の種の贈呈式」があり2年生が代表で受け取りました。花の世話を通じて友だちと協力すること

の大切さ、生命の尊さを学んでほしいという願いのもと1、2年生が人権の花運動に取り組みます。「水をたくさんほしがらる花もいれば好まない花もいる。たくさんお日様に当ててほしい花もいれば日陰が好きな花もいる。それぞれ違うのは人も同じ。みんな違ってみんな素晴らしいし、相手を思いやる気持ちが大切です。」と子どもたちに伝えました。花はひとつひとつ、色も形もおいも違うけれど、どれも素敵です。花が咲くと本当にうれしいですね。心を込めて大事に育て子どもたちのやさしい心も育てて欲しいと思います。

【鮎の放流/たけのこほり 幼稚園】

4月17日 天気にも恵まれ、神戸川（園の後ろ）へ鮎の放流へ出かけました。神戸川漁業組合さんにお世話になりました。出かける前に鮎は何を食べるのかな？と子どもたちと考えました。「へび、うさぎ、さかな、ごはん、さめ、わかめ etc. (笑)」答えは岩や石に付いているコケでした！わかめが近かったですかね。鮎の稚魚も水槽に入れて見せてもらい子どもたちからは「かわいい」との声がたくさん聞かれました。

また、4月23日には地域の高橋さんのお世話になりたけのこ掘りに出かけました。たけのこの山に着くと子どもたちはすぐにたけのこを発見！大喜びでした。地面の下にいるたけのこの赤ちゃんも見せていただきました。子どもたちは「かわいい！」と言っていました。

【神戸川鮎の放流 4年生】

4年生は乙立小学校前の川に神戸川漁協のみなさんにお世話になり、たくさんの鮎を放流しました。バケツから跳ねだしそうな元気な鮎の稚魚に子どもたちはびっくりしていました。「大きくなってね」「元気に育ってね」などと声をかけながら川の中にやさしく放していました。4年生はこれをきっかけに神戸川の学習を深めていきます。

体験活動と表現活動の場づくり

乙立地区、朝山地区にはふるさと学習をする上での様々な学びの場があります。こうした学びの場での様々な体験活動には、まず体験することに価値がある面と、そこから気づきが生まれ次第に深い理解へと発展していくところに意味がある面とがあります。この地区ならではの貴重な体験活動を通してふるさとを大切にすることを育むと共に、成長に応じて探求へつながっていく気づきの質をより高めていきたいです。そして、そうした教育活動に多大な援助をいただいていますのが「みなみ小学校区教育後援会」です。ふるさとにかかわる学びや図書の整備、教育環境の整備等みなみ小学校及び朝山幼稚園の教育振興を図ることを目的に有効に活用させていただきたいと思えます。なお、子どもたちはこれまで学んできたことは日ごろ発表したり、掲示したりしながらお互いに伝え合って力を伸ばしていますが、学期のまとめの時期には保護者やご家族の方、地域の方などにこれまでの学習したことを表現（発表）する場を持ちたいと考えています。

朝山幼稚園/みなみ小学校 運営協議会/地域学校運営理事会

朝山幼稚園、みなみ小学校は地域の方々に園の運営や学校運営にかかわっていただき、「地域に開かれ、地域に愛される支え心地の良い園、小学校」をめざします。この協議会を通し、取り組みや教育環境に対するご意見やご助言をいただきながら園・学校経営に生かしていくと共に、子どもたちのより良い成長のために教育活動を展開して行きたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。